

まなびや訪問

金融教育研究校・
金銭教育研究校
の紹介



株式学習ゲームの様子



音戸高等学校の校舎



金融教育発表会



広島県金融広報委員会事務局長の講演の様子



おんど 広島県立音戸高等学校

音戸高等学校は、呉市の倉橋島

に位置する全日制普通科高校で、各学年1クラス、全校生徒61名の小規模校です。そのため、生徒同士の結び付きが強く、生徒と教員の距離も近いアットホームな雰囲気の学校です。地域行事やボランティア活動に積極的に参加するなど、地域との交流を盛んに行っています。

2021年度から、金融教育研究校の委嘱を受け、1年生の公民科の授業を中心に三つの取組みを実施しました。

一つ目は、地元地銀の支店長による出前授業です。金融にかかわる基礎的な内容から、地方における銀行の役割とその変遷まで幅広く知ることができました。

二つ目は、4人1グループで1年間、「株式学習ゲーム」(日本証券業協会・東京証券取引所主催)に挑戦したことです。模擬売買とはいえ実際の株価と連動しているため、株価の動きやその背景をリアルに学ぶことができました。最初は知っている銘柄を購入していた生徒たちが、少しずつ自分たちなりに根拠を持った売買をするよう

になりました。

三つ目は、同じグループで「金融について学習したことを、5〜10分で中学生に分かりやすく伝える」という課題に取り組みました。生徒達は、協働して調べ、まとめたことを金融教育発表会で発表しました。各グループともどう説明すれば中学生に伝わるかを考えて発表を行い、プレゼンテーション能力を高めることができました。その後、広島県金融広報委員会事務局長に講演いただき、大人になるという自覚を持つってお金のことを考えなければならぬことを学びました。

この4月から、成年年齢が18歳に引き下げられました。成年直前の生徒たちに、模擬株式投資を通じて世の中の動きに関心を持たせるとともに、その体験から得た学びについて自ら考え、年少者に伝える言葉で表現するなど、金融教育の基本的な視点を意識した学習に取り組みことができました。今後金融教育を継続し、「大人になる」という自覚の醸成を図り、生きる力を育てていきたいと考えています。